

真宗大谷派（東本願寺）天満別院

六字城

ROKUJIJO

2023/8/1

No.705

大阪市北区東天満 1-8-26
06-6351-3535
http://www.tenma-betsuin.jp
代表者 輪番・武宮 信勝



墓地入り口に掲げられている 扁額(俱会一処)

寄り添うということ

武宮 信勝

暑中お見舞い申し上げます

最近よく「人に寄り添って」という言葉を聞く。寄り添うということは相手の気持ちを読み取り、理解を深めて何らかの手段を講じるということなのだろうか？障がい者施設「津久井やまゆり園」で元職員の植松聖死刑囚によって利用者19人が殺害され、26人が重軽傷を負わせた事件から7年目を迎えた。「体に障がいのある者は、生きる値打ちが無い」と言った内容の言葉は、世間に大きな衝撃をもたらしたことを思い出す。新たに始まった今のやまゆり園での状況をニュース番組で拝聴した。職員の方が利用者へ寄り添い話を聞く姿、また近くのスーパーと一緒に買い物に行き、利用者本人の欲しい物をお金を払って手にすることの喜びの笑顔が画面に映し出された。全職員がああ悲惨な事件を教訓に利用者一人ひとりに向き合っていることを第一に掲げているという。

報道を聞いて、福祉事業とはいえ、とても大変な事だろうと頭が下がる。ひと昔、国立癌センター看護師長さんがこう言っておられた。「余命いくばくもない患者さんに、以前はきつと良くなるから頑張ってねと励ましていましたが、今は痛いですね。背中をさすりましょうか！と言います。患者さんの気持ちに少しでも寄り添う言葉がけをしています。このことにやっと気づくようになりました。」ということ聞いたことを忘れられません。私は、寄り添うということは人間の業のしがらみを共有するということだと思います。

「念仏は無碍の一道なり」『歎異抄』
念仏が申される身にさせていたたくことは、苦悩を背負うて生きる自他求生の大地に立つということだと信知させていただきました。



法要・行事予定

8月		9月	
4日	暁天講座 (6時) 天満別院輪番 武宮 信勝 「求道者への誕生」	12日	闍如上人御遠夜・常永代経 (14時)
5日	合祀墓追弔会 (9時) 闍如上人御遠夜・常永代経 (14時)	13日	闍如上人御命日 兼日中 (8時)
12日	闍如上人御命日 兼日中 (8時) 証如上人御祥月御命日 (8時) 孟蘭盆会 (13時30分) 由上 義孝師 (第20組 施福寺) 「如来」ともうすは、 諸仏をもうすなり	16日	天満別院合唱団「みのり」 (14時)
27日	宗祖聖人御遠夜 天満別院合唱団「みのり」 (14時)	24日	秋季彼岸会 並 総永代教法要 兼 墓地納骨者(物故者)追弔法要 (13時30分) 宮部 渡師 (第15組 西稱寺)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 (8時) 法話：輪番 武宮 信勝	27日	宗祖聖人御遠夜 (14時)
		28日	宗祖聖人御命日 兼日中 (8時) 法話：輪番 武宮 信勝
		30日	合唱団「みのり」リハーサル (14時)

おあさじにお参りしましょう!!

毎朝7:45分~8:30頃まで
※土、日は職員による感話があります。一人でも多くのご参詣をと、願っています。

新規墓地・合祀墓納骨のご案内

現在、別院では真宗の御門徒の墓地使用者を募集しています。また別院の由緒を敬慕し崇敬護持に協力する門徒、及び信徒の墳墓として合祀墓がございます。



儀式執行は別院職員が行います。墓地のお求め、納骨等詳しくは寺務所までご連絡ください。

今月の伝道掲示板

往生とは、
本願を信ずること
この世を深く
この世をやさしく
生きていく自己が
誕生したこと
— 平野 修 —

編集後記

先日、はぐくむという字は「育む」と書きますが、元々は「羽包む」という意味で親鳥の大きくなって柔らかな羽でわが子を温めている姿を表していること知りました。
日頃、自己中心の生活を送っている私たちが阿弥陀さまの光明によって撰め取り、片時も目を離さず護ってくださいます。まさに親からの育くみのような深い愛情を感じずにはいられません。
(I)

本山（東本願寺）御用達

(株)平安法衣舎

〒600-8153
京都市下京区東町本願寺大門前
電話 (075)-351-3681
FAX (075)-351-5563

おかげさまで創業120余年
あなたの街の石やさん

株式会社太田石材店

~仏事その他何なりとお気軽にご相談ください~

0120-305-075

本社
〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075 FAX 06-6930-5078

于血蘭盆會法西宴

うらぼんえ

日時

8月13日(日)
午後1時30分
～3時30分

講題

「如来」ともうすは、
諸仏をもうすなり
由上 義孝師 (施福寺)

ご講師

ご講師からのメッセージ

「如来」を語る前に、我われ自身の有り様を見凝ねばなりません。それは、言うまでもなく「煩惱具足・罪惡深重の凡夫」です。

しかし、私達は〈煩惱〉も〈極悪〉も、既に「如来に救済されるべき身」として用意された私の形容語として認識しているに過ぎないではありませんか。我われは、自我を動かさずに、観念を手元で処理して、分かったつもりになっているに過ぎません。

実はそれこそが、宗祖が言われる《自力作善・雑行雑修》なのです。その時々、つごう・場の満足は果たせても、一瞬にして過ぎ去り、無常の人生は朝露の如く消えていきます。

『この如来、微塵世界にみちみちたまえり。～報身如来ともうす。報とはたねにむくいたるなり。(宗祖：唯信鈔文意)』

宗祖は上の如く、如来の本質を凡夫・衆生救済そのものに見られています。

慙愧する我・自覚する私の日々の現実生活で、〈その種に報いたる真実の働き〉である如来との出遇いが誕生するのです。

それが如来名号の呼びかけである、お念仏です。

真宗大谷派(東本願寺)天満別院

Q&A

お念珠の種類について



使用します。本装束念珠・半装束念珠・木念珠・略念珠等々が使用されます。

ご門徒さまが用いられている念珠は略念珠がほとんどだと思います。男性用の一輪念珠・女性用二輪念珠と一輪念珠(小念珠また略念珠)の三種類があります。

答え
念珠は、各宗派の教義の違いにより、独特の形式を生み出しているようにになりました。基本的には百八個の玉をつないだ輪は変わりありません。この百八という数は、除夜の鐘の回数と同じです。百八段からずっと身につけていられる個の煩惱を一つずつ練って数えながら念仏を唱えてきたことから、「念珠」と呼ばれるのです。真宗具です。特に真宗では念仏をするの教えでは、お念仏によって煩惱時に用いるので「念珠」なのです。このようにして煩惱の我が身が自覚なく手を合わせるという気持ちでされてきたのでしよう。そこに阿弥様に手を合わせるということ切な事です。

僧侶が用いる念珠は、お装束の軽重により種々なる形式のものを (第7組 慈雲寺 江村 勝友)

告知

墓前申経について

今年度の墓前申経は、左記の日程となります。

記

日程 8月12日(土)から
16日(水)

時間 9時～17時まで

受付 天満別院 同朋会館
(講堂)前

※(12日・13日のみ講堂前それ以外は、墓地事務所にて受付)

※ 待合室として同朋会館(講堂)を開放致します。

※ 別日にて申経をご希望の方は、事前に別院寺務所ご連絡ください。

※ お供えものは当日にお持ち帰りください。

報告

定例法話

7月27日(木) 御講師に13組善福寺住職野村正示師をお迎えし、講題「よろこんで楽に生きる」についてお話いただきました。

師からは、よろこぶという漢字は例にあげても喜・悦・歡・慶などがあり、それぞれ使う場面が違います。話す時は意識しないが手紙などで字を書くとき使い分けを意識します。

また身も心も喜びに満ち溢れていることを「歡喜」といい、阿弥陀さまの願いによって信心に目覚め喜び樂に生きられるのだと話されました。



第13組善福寺住職 野村 正示師